

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

1990年代初頭の米ソ冷戦体制の崩壊で、経済活動のグローバル化が急速に進展してきました。財やサービスなどの貿易、直接投資、証券投資、銀行融資などの資金、ヒトなどが国境を越えて活発に移動するようになってきました。グローバル化の進展で世界の国々の相互依存が高まってきています。世界には、日米欧諸国や新興諸国・発展途上国がありますが、日本などは、発展途上国などに積極的に開発援助などをおこなっています。グローバル化の進展により、世界は相互依存を強め、経済を成長させてきましたが、その負の側面として、ひとびとの経済格差が拡大してきています。アメリカは、トランプ政権の誕生で自国中心主義をかけた、保護主義的な政策を進め、TPP(環太平洋経済連携協定)から離脱しました。中小証券への経済・証券市場予測などの情報を提供している日本証券経済研究所における実務経験に基づいて、国際貿易の見通しの分析手法について詳しく講義します。とくに、為替相場の決まり方と予測手法についてあきらかにします。本講義では、グローバル化の進展と現状についてあきらかにします。

授業計画

第 1 回	講義の概要
第 2 回	貿易はなぜおこなわれるか
第 3 回	比較優位の理論
第 4 回	貿易政策とは-関税と非関税障壁
第 5 回	世界貿易体制-WTO とは
第 6 回	TPP(環太平洋経済連携協定)の概要
第 7 回	TPP(環太平洋経済連携協定)の問題点
第 8 回	FTA とは
第 9 回	NAFTA とは
第 10 回	EU とユーロとは
第 11 回	海外投資はどのように行われるか
第 12 回	国際的な資金の流れ
第 13 回	為替相場の決まり方と予測手法について
第 14 回	開発援助の在り方
第 15 回	世界の貧困をなくすには
第 16 回	期末試験

到達目標

トランプ政権の誕生で、世界の貿易や経済は大きく変容しつつあります。グローバル化の進展によって世界は経済成長を実現してきましたが、貧困問題は克服されていません。どうしてなのか、また実務界での経験にもとづいて、世界経済と貿易の見通しの分析手法について理解してもらうことを目標としています。

履修上の注意

現実の国際経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。30分以上の遅刻は欠席とし、30分以内の遅刻二回で欠席一回とします。

国際金融論を履修しておく、現状の国際経済の実態をより深く理解することができます。

予習・復習

講義の予習・復習をしてください。現実の世界経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。

方法

中間試験(30%)と期末試験(70%)によって総合的に評価します。

テキスト

教科書は使用せず、適宜、レジメなどを配布します。